

知事あいさつ（設立趣旨について）

- 本日、高知県マイナンバー情報総点検本部を設置しました。
- 国においては、マイナンバーの紐付けに関する一斉点検を、原則秋までのスケジュールで行うこととしているところです。
- 国の方針としては、主に4情報（氏名、住所、生年月日、性別）以上で照会のうえ紐付けが行われているかについて、第1段階のスクリーニングとして確認しており、そうでない場合には総点検を実施することとして、その対象や方法については今後示される予定です。
- こうした中、先週、県では身体障害者手帳の交付事務において114件の紐付け誤りが発覚しました。この事例は、4情報による確認の問題というよりは、県においてシステムにマイナンバーを入力する際のヒューマンエラーにより発生したものです。
- 本来はこのようなヒューマンエラーはあってはならないものですが、本県でも起こってしまったという事実を重く受け止め、今後はしっかりと対応していくことが求められています。
- そうした意味で、県の総点検本部の役割は次の2点です。
 - ①国の総点検について国からの指示にしっかりと対応するとともに、県内の総点検の全体像を共有し、抜けがないようにすること

②ヒューマンエラーについて、他の項目でも起こりうることはないか、改めて事務手続きを確認し、場合によっては県独自の点検作業を実施することも考えなければならないこと

○マイナンバーに関連付けられる各種の行政情報の連携は、デジタル化を進め、国民・県民の皆様の実便性の向上や行政事務の効率化のために必要不可欠な仕組みですが、国民・県民の皆様からの信頼が得られなければ機能しません。

○県の総点検本部は、マイナンバーをめぐる情報連携に対する国民・県民の皆様の実便を一日も早く回復し、そのために必要な対応を県独自でもしっかりと行っていくために設置したものです。

○関係部局においては、こうした趣旨を十分に踏まえたうえでしっかり対応いただき、信頼回復に努めるよう、よろしく申し上げます。